

教育プログラム・コースの概要

大学名等	宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科 博士課程 医学獣医学専攻						
教育プログラム・コース名	包括的がん専門医療人養成コース						
対象職種・分野	医師、薬剤師						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	地域に密着し、地域全体のがん医療に貢献できる人材の不足を解決するために、病理診断、放射線治療、小児がん医療、がん薬物療法など基礎から臨床まで幅広い専門知識を習得し、実践することが可能な医療人を育成する。						
修了要件・履修方法	本学の指定する科目を履修し、本学附属病院等での実地研修を行う。						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ●必修科目 <u>基盤的研究方法特論Ⅰ～Ⅲ（計5単位）</u>、<u>医学獣医学研究特論（1単位）</u>、<u>サイエンスコミュニケーション特論</u>、<u>先端的医学獣医学特論</u>、<u>研究特論（各2単位）</u> 計12単位 ●選択科目【<u>附属病院診療科（放射線科、病理診断科、小児科、臨床腫瘍科）及び薬剤部での演習・実習科目</u>】 小児疾患治療学演習、小児科学演習、臨床画像診断学演習、画像診断学演習、腫瘍病理学演習、腫瘍細胞生物学演習、消化器悪性腫瘍演習、薬物動態学演習（各4単位）のいずれか1科目 計4単位 						
がんに関する専門資格との連携	放射線治療専門医（日本医学放射線学会）、病理専門医・口腔病理専門医・分子病理専門医（日本病理学会）、日本血液専門医（日本血液学会）、小児血液がん学会専門医（日本小児血液がん学会）、がん薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）、がん治療認定医（日本がん治療認定医機構）、がん専門薬剤師（日本医療薬学会）、がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）、外来がん治療専門薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ●各専門領域のがん診療専門医による科目を自主的に選考できる。 ●医療資源の少ない地域での実地研修を行い、地域でのがん診療の問題点と対策を考えることができる。 ●地域に特徴的ながん臨床研究を実施することができる。 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ●医学獣医学総合研究科の大学院生担当教官 ●放射線治療専門医 ●病理専門医、分子病理専門医 ●日本血液専門医、小児血液がん学会専門医 ●がん薬物療法専門医、がん治療認定医 ●がん専門薬剤師、がん指導薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師 						
修了者の進路・キャリアパス	●基礎医学者コース、放射線治療専門医、小児がん専門医、病理専門医、分子病理専門医、がん薬物療法専門医、がん専門薬剤師等へのキャリアパスが想定される。						
受入開始時期	令和5年7月（予定）						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	2	2	2	2	2	2	12
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度2人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を2人と設定。						